

ウシガエル

北アメリカ原産のカエルで、1918年に食用のために輸入されたものが、野生化し全国に拡がり定着しました。

成体になると、オスは15cm、メスは16cmもの大きさになります。背中は緑色で黒色のまだら模様があり、目の下には大きな鼓膜があります。

警戒心が強く、外敵が近づくと「ギャッ」と鳴き、水中に隠れます。他のカエル類と同様に肉食性ですが、手当たり次第に何でも食べてしまいます。

主に水草の繁茂する河川や池、湿地などに生息しています。

繁殖期の5月から9月になると、池や湿地、河川の溜まりなどの止水に集まり、オスは「ヴォーヴォーヴォー…」と鳴きます。ネバネバした寒天状のものに包まれた卵を、水草などに2万個も産み付けます。

本種はオタマジャクシで越冬し、翌年の5月頃から変態します。

平成17年から始まった「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」の中で、ウシガエルは「特定外来生物」に指定され、移動や飼育などが禁止されています。違反すると罰金などの罰則があるので気をつけて下さい。



富士市での現状

浮島ヶ原の広い範囲と富士川河口にある池で、多く確認されました。

ウシガエルを確認したメッシュ

